

夏の終わり

校長 和内 正也

9月になりました。大昔は夏が終わり、秋が始まる時期でしたが、現代ではまだまだ暑い日が続く「夏」状態です。とはいえ真夏の太陽の勢いが少々落ち着き、ふと吹く風に涼しさの気配を感じるようになってきました。通勤で歩く道路沿いにある田んぼでは稲が実を結びはじめ、秋の虫の声が聞こえてきたり、川沿いを赤とんぼが飛んでいたりと、ひそかな秋の訪れを感じることがあります。

これから先、私は夏の終わりがタイトルに入った、あるいは夏の終わりをテーマにした歌があれこれ思い浮かぶようになってきます。夏の明るさ、出会いから、季節が秋に移って状況が変化していく様子を感じ傷的に表現している楽曲が多いと思っています。夏の終わりになると、人はなぜ名残惜しさや寂しさを感じてしまうのでしょうか。

夏の終わりを惜しむ気持ちには、楽しかった輝かしい思い出への憧れがあるようです。学校においては秋の始まりが夏休みの終わりと重なります。日常生活から離れた期間が楽しく充実していればいるほど、終わりは名残惜しいものとなるのでしょうか。寂しさやせつなさは、私たちが今を大切に生きているという証拠なのではないでしょうか。過ぎ去った日々を振り返る時間は心を豊かにし、これから訪れる季節への感受性を研ぎ澄ましてくれます。

もう一つ自然界全般において、夏の終わりは秋の実りへと向かうための準備期間となっています。夏に活動のピークを迎え、その後は活動が低下していく、という自然の流れがあります。植物は葉を茂らせる成長の季節を終え、エネルギーを蓄える段階に入ります。

人間も同じで、常にフルパワーで走り続けることは不可能です。何かを成し遂げた後に訪れる「そのことから離れること」や「落ち着き」は、これまでの方向性や見方を変えていくことにつながります。新しい何かを創造していくためには、全力全開でない場面も必要である、ということを季節が教えてくれているようにも思えます。

暑い日はもうしばらく続きそうですが、10月を待たずに秋に移っていくことでしょう。「実りの秋」、「読書の秋」、「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」、「天高く馬肥ゆる秋」、等々昔から言われてきた、さわやかな季節に進んでいきます。

静けさと落ち着きを取り戻す秋は、自分自身と向き合うには適した季節です。夏の間に得た経験や出会いに感謝しつつ、心穏やかに次の季節（未来）へと歩みを進めていきましょう。



弓張岳展望台

長崎県佐世保市 2026. 7.29

作品介绍

～本校・センター院内学級～

夏の疲れが出やすい時期です。体調管理に気を付けて元気に過ごしましょう。



図工・美術

～福浦院内学級～

『みんなで見上げるでっかい花火』

蛍光絵の具で一人ひとりが描いた光の線を、みんなで貼り合わせて「でっかい花火」を完成させました。そして一人ひとりが花火を見ている自分を作りました。かき氷やうちわを持たせるなどして個性豊かに作ることができました。



Winy Quartet コンサート

7/2 (木) に本校にて Winy Quartet さんによるコンサートを行いました。

管楽器、ピアノ、ヴァイオリンによる生演奏を楽しみました。



作品介绍

～訪問指導学級～

・児童生徒が授業で制作した作品を紹介します！



小5 図工『水と光②』



小2 図工『くしゃくしゃ ギュー』

9月の予定

- 1日 (火) 全校朝会 避難訓練
- 17日 (木) 薬物乱用防止教室
- 21日 (月) 敬老の日
- 22日 (火) 国民の休日
- 23日 (水) 秋分の日

今月のスクールカウンセラー来校日は17日です

その他の予定は、各院内学級よりお知らせします



浦舟における6月のいじめ件数は 0件でした。